

エコロード・キャンペーンについて

2006年10月23日

エコロード・キャンペーン実行委員会

1. キャンペーンの目的

京都議定書の目標達成のためには**自動車交通からのCO2排出量の削減**が不可欠となっています。道路行政においては、CO2削減目標を達成するため、昨年12月に地球温暖化防止のための道路政策会議より報告を受けた「**CO2削減アクションプログラム**」（詳細は「参考資料1（P.9～P.15）」を参照）の概要に基づき各種施策を推進しているところですが、従来から実施している道路整備などのハード施策や路上工事の縮減等のソフト施策といった道路管理者としての取り組みだけでなく、**エコドライブや高速道路の利用促進など国民と連携した取り組み**を実施するため、「**エコロード・キャンペーン**」を実施します。

京都議定書目標達成計画策定(2005年4月閣議決定)

運輸部門に割り当てられたCO2排出量の目標値(2010年)は約2億5,000万t
道路政策では、約800万tのCO2削減を目標

CO2削減アクションプログラムの推進

国民との連携が必要な施策について

エコロード・キャンペーンの実施

CO2削減施策への国民の参加促進
(行動喚起に向けた機運醸成と情報発信)

- ・エコドライブの推進
 - ・高速道路の利用促進
 - ・VICS、ETCの普及促進
- 等

(1) 実施主体

主催

エコロード・キャンペーン実行委員会

(国土交通省道路局、各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社)

後援

(社)日本自動車工業会、(社)日本自動車販売協会連合会、
(社)全日本トラック協会、(社)日本バス協会
(社)日本自動車連盟、全国地方新聞社連合会

(2) 実施期間

平成18年10月24日 から 平成20年3月(予定) まで

3. キャンペーンの内容

マスメディアを活用した情報発信、道の駅、SA/PA等での情報発信を通じて地球温暖化防止に関わる社会的機運の醸成を図り、エコドライブや高速道路の利用促進など国民と連携した取り組みを実施します。

さらに、国民と一体となって重点的にCO₂削減の取り組みを実施する「重点地区」（全国14地区：平成18年度）において、公共交通機関の利用促進など国民と連携した施策を促進します。

全国的な取り組み（エコロード・キャンペーン実行委員会）

マスメディアを活用した情報発信、道の駅、SA/PA等での情報発信
を通じて地球温暖化防止に関わる社会的機運を醸成

キャンペーンの狙い、広報戦略等の共有

情報発信アイテムの共通化・共有化

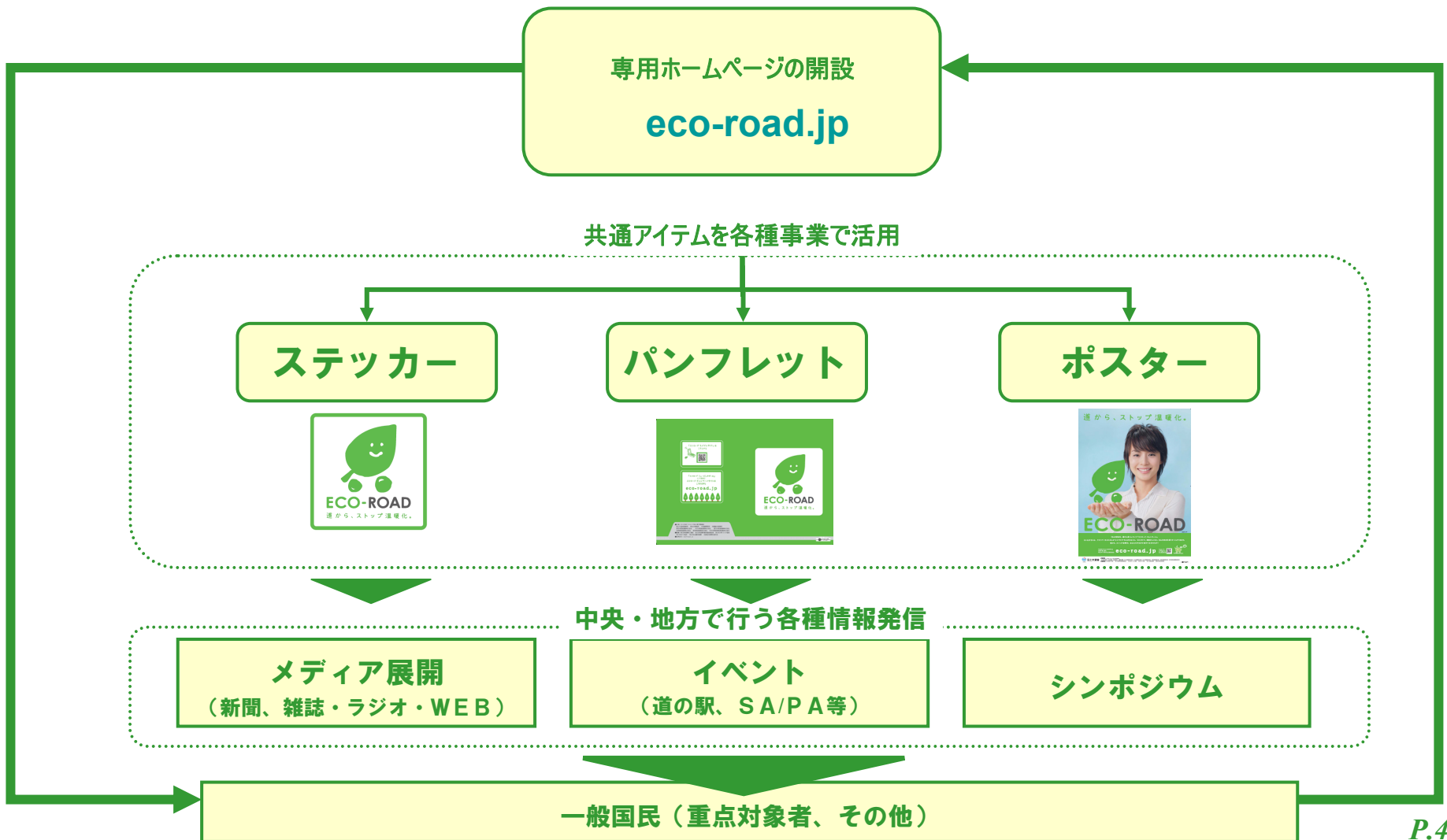
（専用ホームページ、パンフレット、ポスター、
ステッカー等の共有アイテムの活用）

重点地区※における取り組み（自治体、関係団体と連携）

イベント&シンポジウムの開催、パンフレット、ポスター、ステッカー等の配布、
地域メディア、アクセスポイントを活用した具体的な情報発信等

4. 具体的な情報発信の方法

国民に幅広くキャンペーンの取り組みへの参加を呼びかけるため、全国で共通のポスター、パンフレット、ステッカーを活用するとともに、HP、マスメディア、各種イベントによる情報発信を行います。



エコドライブの推進

- ①ふんわりアクセル『eスタート』
- ②加減速の少ない運転
- ③早めのアクセルオフ
- ④エアコンの使用を控えめに
- ⑤アイドリングストップ
- ⑥暖機運転は適切に
- ⑦道路交通情報の活用
- ⑧タイヤの空気圧をこまめにチェック
- ⑨不要な荷物は積まずに走行
- ⑩駐車場所に注意

CO2削減に向けた各種取り組みの実施

①高速道路の利用促進

一般道路のように交差点のない高速道路は安定した速度でスムーズに走れるので、CO₂の排出は少なくなります。

②ETC、VICSの普及促進

ETCを活用することで、料金所での一旦停止がなくなり、料金所付近の渋滞が解消されます。

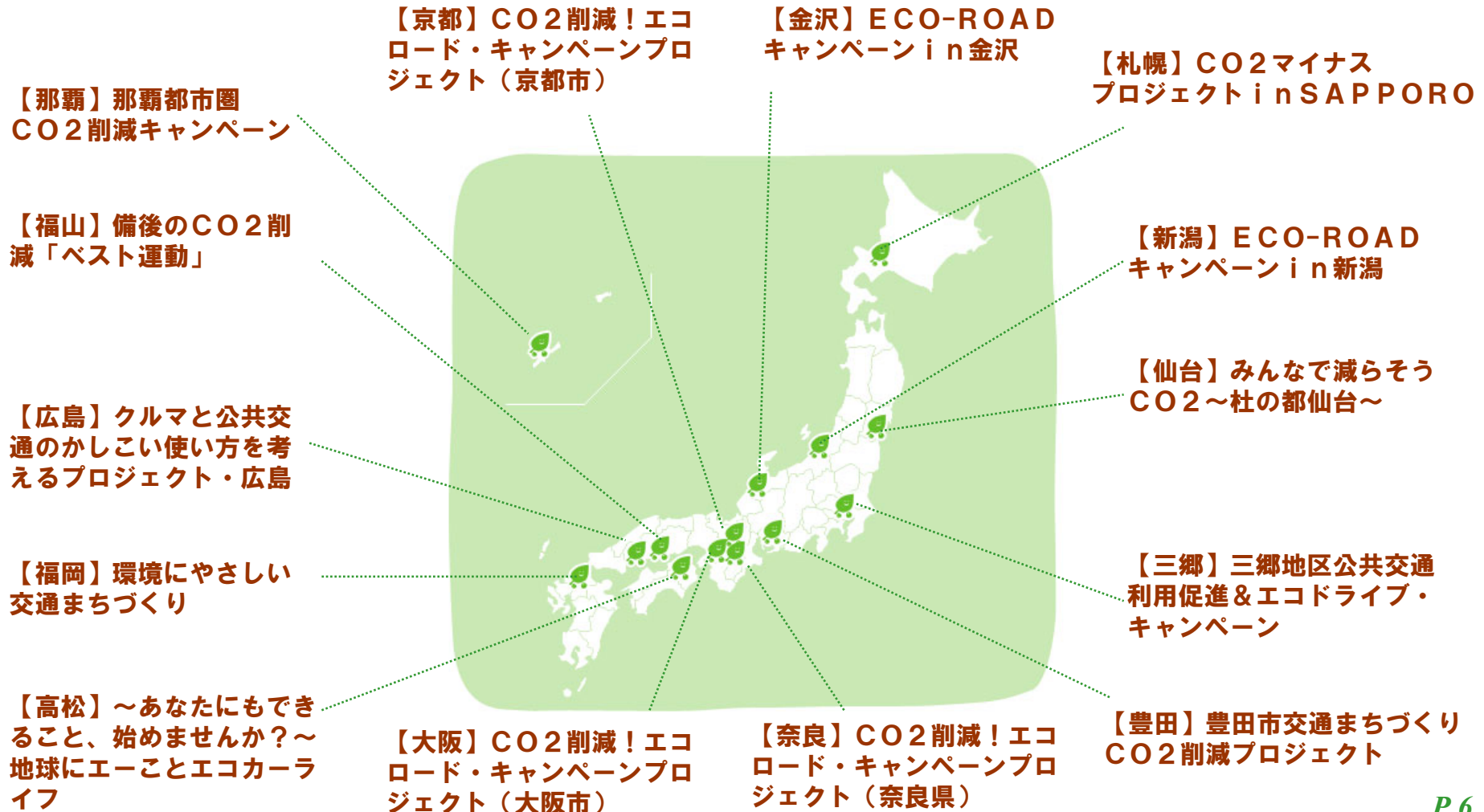
③重点地区で取り組む施策の推進

公共交通機関の利用促進などの各種取り組みを実施し、CO₂排出量を削減します。

6. 重点地区の取り組み (詳細は「参考資料2(P.16~P.30)」を参照)

国土交通省では、渋滞によりCO₂排出量が多く、CO₂削減に向けた取り組みの効果が大きい地域を重点地区(平成18年度現在14地区)に選定しています。

これらの地域において、自治体、関係団体と連携しながらエコドライブの普及、高速道路の利用促進を図るほか、公共交通機関の利用促進などの各種取り組みを実施しています。



7. キャンペーン専用WEBサイトの紹介 (eco-road.jp)

「エコドライブの10のすすめ」、「道路ってエコ」等のコーナーを作り、国民に分かりやすくキャンペーンの取り組みをPRします。また、エコドライブミュージックゲーム等エンターテイメント性のあるコンテンツも加えることで、楽しくエコドライブを理解できるように工夫しています。

1 エコドライブ10のすすめ →
エコロードステッカーは、お近くの道の駅・S.A.などで配布しています。

2 道路ってエコ →
実は、道路はCO2削減に役立っているのです。その理由とは？

3 エコロード宣言者数 **16200**人

ECO-ROAD
道から、ストップ温暖化。
エコロードキャンペーン参加宣言
キャンペーンに参加して、あなたの車にもエコロードステッカーを貼ろう。ステッカーは、お近くのS.A.などで配布しています。
エコロード宣言をしていただいた方には、エコロードオリジナルスクリーンセーバーをプレゼントいたします。
→ **エコロード宣言をする**

エコドライブ10のすすめ
エコドライブ10のすすめ

ECO-ROAD
道から、ストップ温暖化。

エコロード各地の取り組み
全国各地の取り組みと、イベント情報はこちらから

関連リンク
エコロードに関する関連リンクはこちらから

お問い合わせ
お問い合わせはこちら (仮コピー)

ECO-ROADキャンペーンキャラクターの名前を一般公募します! 詳しくはこちら

TOPICS
2006.10.24 ▶ ECO-ROAD キャンペーンサイトを公開しました。
2006.11.00 ▶ 仮ニューステキスト仮ニューステキスト仮ニューステキスト仮ニューステキスト仮ニュース

ECO-ROADパナー
みなさまのブログやホームページなどで掲載してください。
詳しくはこちら →
※左の画像は実寸サイズとは異なります。

エコドライブミュージックゲーム
エコドライブの歌にあわせて、ボタンをクリックする簡単ミュージックゲームだよ! クリアした人には主観歌のMP3をプレゼント!
→ **遊んでみる!**

主催: エコロードキャンペーン実行委員会
国土交通省道路局 各地方整備局 北海道開発局 内閣府沖縄総合事務局 東日本高速道路株式会社 中日本高速道路株式会社 西日本高速道路株式会社 首都圏高速道路株式会社 阪神高速道路株式会社 本州四国連絡道路株式会社
後援: 社団法人日本自動車連盟 社団法人日本自動車工業会 社団法人日本自動車販売協会連合会

私は **チーム・マイナス6%**です

1 すこしの時間でも
アイドリング・ストップ

車内で人を持ったり、荷物の積み下ろしで短時間停車。ちょっとした間だからと、アイドリングしていませんか? でもたった5分でも50ccを消費してしまいます。アイドリング・ストップを心がけましょう。
 やってみる! それはちょっと...

→ NEXT

2 道路ってエコ
道路ってエコ
(道路の存在が)

舗装道路の存在の功。そしてみんなエコドライブを支えるために、国でもECO-ROADに取り組んでいます。

渋滞がなくなれば、CO2が減らせるって本当?

渋滞がなくなると、車中の速度が上がります。そうすると排出されるCO2も削減されます。たとえば、西大宮バイパスを整ったことによって高速道路の交通量は増加したにもかかわらず、走行距離が増えたので、CO2削減は実現できなかったのです。つまり、渋滞解消は、みんなのクルマを解放するだけでなく、環境の改善にも効果が期待できます。
そして道路の整備をしない、そのために、国ではまだまだ取り組みが広がっていません。

CO2削減計算機
 $\times (1 - \text{CO}_2) + (\text{CO}_2) = \text{CO}_2$ 削減

車種	CO2 (g/km)	CO2削減 (g/km)	CO2削減率 (%)
軽自動車	100	10	10%
普通車	150	15	10%
軽トラック	100	10	10%
普通トラック	150	15	10%
バス	100	10	10%
トラック	150	15	10%

1 ETCってエコ
2 高速道路ってエコ
3 車状道路ってエコ
4 路上工事の削減ってエコ

3 エコドライブミュージックゲーム

エコドライブの歌にあわせて、ボタンをクリックする簡単ミュージックゲームだよ! クリアした人には主観歌のMP3をプレゼント!
→ **遊んでみる!**

8. パンフレットの紹介

全国の道の駅、SA/PAなどのイベント等でエコロード・キャンペーンのパンフレットを配布します※。パンフレットの中では、エコドライブの実践方法やその効果を分かりやすく紹介しています。

※品切れ等によりお渡しできないことがありますのでご了承下さい。

道から、ストップ温暖化。

“エコロード・キャンペーン”って何？

地球温暖化の黒田となっているCO₂。車から排出されるCO₂が、全体の約2割を占めています。ドライバーひとりひとりの力によって、道からCO₂を少しでも減らしていこうとする運動。それが「エコロード・キャンペーン」です。

ドライバーのみなさんが、運転のしかたや、車について、ほんのすこし気にかけるだけで効果がよくなり、CO₂の排出が減り、車にも環境にもやさしくなる。そんな「エコドライブ」を、さっそく今日から始めてみませんか？

たまにはエアコンを切ってみよう

エアコンの使用はエンジンに負荷をかけることに、特に夏場の冷やしすぎには注意。天気のいい日は、窓を開けてドライブしてみては？気持ちがいいし、エコにもいいですよ。




ちょっとの気くばりで、みんながうれしい、「エコドライブ10のすすめ」

すこしの時間でもアイドリング・ストップ

車内で人を持ったり、荷物の積み下ろしで短時間停車。ちょっとの間だからと、アイドリングしていませんか？でもたった5分で65ccを消費してしまいます。アイドリング・ストップを心がけましょう。

このエコドライブで年間およそ、**0.7*** の水を節減したことになります。



ふんわりアクセル「eスタート」でやさしく発進

10回の急発進で170ccの燃料を消費するうえ、エンジンにもダメージを与えてしまいます。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。発進に余裕を持って、ゆっくりした発進で運転しましょう。

このエコドライブで年間およそ、**1.8*** の水を節減したことになります。




エコドライブの実践方法とその効果について紹介

タイヤの空気圧で快適ドライブ

右左のタイヤの空気圧、押さえたタイヤで50km走行した場合、燃費にも影響してきます。タイヤにも影響してきます。タイヤにも影響して、燃費のいい走り。


1.6* の水を節減したことになります。

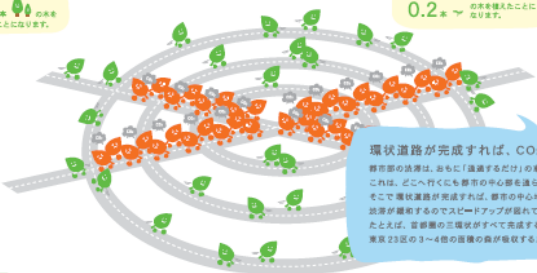


不要な荷物とドライブしてませんか？

トランクに入っている必要のないモノたち。これらの積みもエコドライブにとっては、まさに“お荷物”。10kgの積み（たとえばゴルフバッグ1式）を載せっぱなしで、50km走行すると燃料15ccのロスになります。

このエコドライブで年間およそ、**0.2*** の水を節減したことになります。






環状道路が完成すれば、CO₂が減ります。都市部の渋滞は、おもに「通過するだけ」の車が原因。これは、どこへ行くにも都市の中心部を通過しなければならないことが多いです。そこで環状道路が完成すれば、都市の中心部を通過する車が減り、渋滞が解消するまでスピードアップが図れて、CO₂排出量を減らすことができます。たとえば、首都圏の環状道路がすべて完成すると、東京23区で3〜4割の量の車が通過するだけのCO₂を削減できるのです。

おでかけルートは計画的に

道に迷うと時間がかかるし、お出かけのたびに燃料も消費。1分余計な走り、35ccのロスになります。地図やVICSリアルタイムナビを活用して、スムーズで燃費のいい運転を。

このエコドライブで年間およそ、**0.4*** の水を節減したことになります。



エンジンをかけたらすぐ出発

ガソリン乗用車の燃費は不要です。車検など特別な状況を除いて、走りながらのウォームアップ走行で充分。5分間燃焼すると、180ccの燃料を消費してしまいます。

このエコドライブで年間およそ、**1.7*** の水を節減したことになります。

